

2023年3月

お客さま各位

三井住友信託銀行株式会社

新たな外国送金電文フォーマットへの移行(ISO20022 対応)について

SWIFT(国際銀行間通信協会)は、2023 年 3 月 20 日(月)から ISO20022 に準拠した外国送金の新しい電文フォーマットの利用開始を公表しており、2025 年 11 月までに現行の電文フォーマットは廃止され、新フォーマットへ完全移行することが各金融機関は求められています。

ISO20022 とは

- ISO20022 とは、国際標準化機構が定める「金融メッセージの世界共通規格」のことであり、世界各国の金融機関で現在使用されている外国送金の電文フォーマット(MT 電文)に代わって採用されます。
- 新しい電文フォーマットは MX 電文と呼ばれ、現行の MT 電文と比較してより多くの送金情報を送金電文上に含めることができるようになります。
- 各国の決済制度に応じて様々な電文フォーマットが使用されていた状況が新フォーマットに統一されることで、送金処理の効率化やシステム化が期待されます。
- 2023 年 3 月 20 日(月)から MT 電文と MX 電文が併存し、2025 年 11 月以降は MX 電文に統一される予定です。(MT 電文は廃止)

電文フォーマットの主な変更点

- MT 電文は、電文内容を人の目で識別することを想定して 40 年以上前に開発された仕組みであり、「フィールド」と呼ばれる入力欄に複数の送金情報を入力しており、入力できる情報量も限られていました。
- MX 電文は、システム処理を前提として開発された仕組みであり、<〇〇>***</〇〇>のような「エレメント」と呼ばれる形式を使用し、***が何の情報であるかを明確に定義できます。



被仕向送金取引への影響について

- 2023 年 3 月 20 日(月)以降、一部の被仕向送金は MX 電文で受信しますが、従来通りお客さまの口座へ入金いたします。
- 両フォーマットの併存期間においては、お取引先が送金依頼時に現フォーマットの入力桁数上限を超えて新フォーマットをご利用された場合に、被仕向外国送金の計算書や三井住友信託ビジネスダイレクト(外為)の到着案内等において、すべての送金情報を表示しきれない可能性があります。

仕向送金取引への影響について

- MX 電文による仕向送金受付開始時期は検討中であり、改めてご案内します。
- 外国送金依頼書の様式や三井住友信託ビジネスダイレクト(外為)の仕向送金依頼画面については、MX 電文による受付開始時期までに改定を行います。

以 上